

山陰道（萩・三隅道路）の概要

- 山陰道（萩・三隅道路）は萩市椿から長門市三隅中に至る延長15.2kmの道路です。
- 平成23年9月23日に萩IC～明石IC（8.1km）が開通しました。
平成20年2月に明石IC～三隅IC間（7.1km）は開通しており、萩・三隅道路全線の完成となりました。

三見IC付近



写真①：開通後の状況（三見ICから長門方面をのぞむ）



平成23年10月2日撮影

写真②：開通後の状況（萩ICから長門方面をのぞむ）

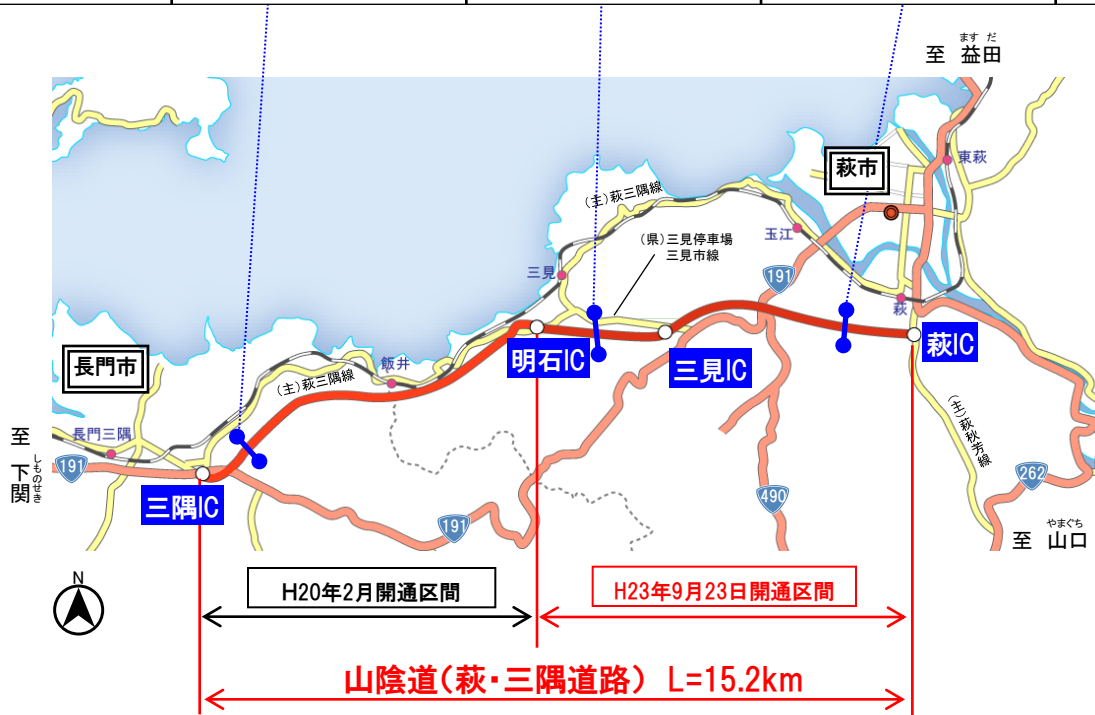


■山陰道(萩・三隅道路)の開通区間を平日1日当たり約5,400～約6,600台が利用！！

- 平成23年9月23日に開通した萩IC～明石IC間の1日当たりの利用交通量（約1ヶ月後）は、
平日に約5,400～約6,600台/日となっています。

■1日当たりの山陰道(萩・三隅道路)の交通量

調査区間		三隅IC～明石IC	明石IC～三見IC	三見IC～萩IC	備考
【5日後】	9月28日(水) 7:00～翌7:00	7,600台/日	7,400台/日	5,500台/日	(供用1週間速報)
【約1ヶ月後】	10月26日(水) 7:00～翌7:00	7,500台/日	6,600台/日	5,400台/日	



周遊観光の促進や地域の広域連携を支援！！

- 山陰道の開通により萩～長門間の周遊観光の促進が期待され、様々な取り組みが行われています。
- 萩市・長門市の共同による広域的な行政連携が進められています。

周遊観光促進などの地域の相乗効果に期待

- ・松陰神社（萩市）、湯本温泉（長門市）、秋芳洞・秋吉台（美祢市）など、萩・長門・美祢地域には全国的に知られる観光資源が点在しています。
- ・山陰道（萩・三隅道路）および小郡萩道路は、これら3市の結びつきを強め、周遊観光を促進する道路として観光関係者に期待されています。



観光関係者

- 萩・三隅道路や小郡萩道路の開通に伴い、萩市・長門市・美祢市の3市で、観光推進協議会を立ち上げて、観光パンフレットを作成しました。
- また、萩市・長門市・美祢市・阿武町・島根県津和野町・島根県益田市の6市町をめぐるスタンプラリーを本年7月より新たに開始しました。
- 萩・三隅道路を利用した関係市町間の周遊性の向上といった相乗効果の発現に期待しています。

山陰道（萩・三隅道路）は地域の周遊観光促進に貢献!!



写真は各市観光協会提供。
観光客数は山口県観光動態調査による平成22年の数値。

山陰道を活用した広域的な行政連携

- ・萩市と長門市は現在の清掃工場老朽化に伴う新工場建設時期にありました。
- ・この際、循環型社会の一層の促進を目的に、萩市と長門市が共同で清掃工場を建設することとし、アクセスに優れた山陰道（萩・三隅道路）の三見IC付近を建設地に選定しました。
- ・新工場稼働後（平成27年予定）は、山陰道（萩・三隅道路）は阿武町を含めた2市1町の循環型社会の一層の促進に貢献します。

山陰道（萩・三隅道路）三見IC付近に萩市・長門市共同で施設を建設!!



萩市役所

- 三見IC付近に萩市と長門市の共同による新清掃工場を建設することが決定しています。これは、萩市・長門市の地理関係を踏まえて、萩・三隅道路の開通を前提条件として建設地を設定したものです。
- これにより、阿武町を含めた2市1町の行政サービスの広域連携が可能となります。